

## ○いただいた意見・質問及びその回答

### ■発言者1：

①計画って41億円ではなく、残りの部分を半分や3分の2になったというような雰囲気だったが、そうすると総額いくらになるのか。

#### 【回答：市長】

聞き方、答え方にもよるが、トータルで物価上昇等もあわせて、全部やるとすれば41億円、拠点施設をやるには12.2億円、残りについて、市としてはモンベルと協議しながら、コテージやキャンプサイトの数を減らす等、考えながら経費に合わせた有効的な活用を考えている。

②それでいくと、12億円で終わるような話ではないということか。

#### 【回答：市長】

12億円で終わるという話ではないが、単年度でやるかやらないかでは、まったく別。

③そうすると、留萌市の持ち出しが3億円以内という話は違ってくるのではないか。

#### 【回答：市長】

全体的な話で進めると、変わる。

④それであれば、全体的な話をきちんと説明するべきではないのか。

#### 【回答：市長】

現在の様々な物価高騰・資材高騰で極端にいうと1.5倍くらい上がってしまっている。整備期間をさらに短くしたからいくらになるとかという議論をまだこれから十分、皆さんとしていけるのではないかと考えている。

⑤市としての現在の構想でいうと3億円ではおわらないという受け止めで良いか。

#### 【回答：市長】

モンベルに関しては、これから外構含めて、3億円ではおわらない。

しかし、その財源を市としては様々な方面で探して、なるべく自己負担を減らしていくという努力をしていくつもり。

### ■発言者2：

①今後、既存の公園施設や船場公園に隣接している旧留萌駅の解体後に新交流複合施設が出来たときに、それぞれモンベルとどのような形で建物同士が連動していくのかとい

う話はあると思うが、全体の青写真が無い中でソフトとかハードだとかどういう風な連携をやっていきたいかというのがあれば、教えてほしい。

【回答：市長】

まちなか誘導を大前提の中で、JR留萌線が廃線となって、どんどん駅前に人が集まらなくなるのを市庁舎が入るのか、交流センターになってくるのかは未定だが、入口をオープンにして、多くの人が駅周辺に集まるような施設にしたいし、それと道の駅が連動するような形になっていくように考えている。

②JRのまちづくり資金は廃線とともにもらえるという話だったと思うが、それをモンベルのアクティビティ施設や市の複合施設に使うという話があったと思う。このまちづくり資金を全体で何にどのように使っていくのか、現時点で構わないので教えてほしい。

【回答：市長】

基本的には、増毛線の時に3千万円もらっており、今回の留萌線の廃線に伴い、7千万円もらっている。

これはまちづくりに使うのであれば、どんな形で使っても良いというものなので、優先順位としてはモンベルのこれからの状況をみながら、ハードという形もあれば、ソフトという形もあるということでご理解いただきたい。

③全体としての青写真は作れる状態ではないということで良いか。

【回答：市長】

全体としての青写真は作っていかないといけないと考えているが、JRの廃線が確定になったということで、先に道の駅を進めていた。

そして、これからの交流施設を含めて改めて、モンベルとどう連携できるのかということを書写真にしたいと考えている。

■発言者3：

①モンベルがくることにより、人がまちにお金をおとすという話があったが、実際、道の駅の時も人を呼んで、そこから町に人が来るという話があった。道の駅が出来て、何年か経過しているが、実際に留萌で経営している人たちは、その恩恵を感じているのかが疑問。

正直、モンベルないし企業が来ることは、成功するのであれば、話題性もあるし、喜ばしいことだと思う。しかし、モンベルや道の駅を目的に来た人が、またそこから留萌にくるっていう流れがイメージできない。

そこらへんを地元企業にリサーチして、細かく数字として、実際増えたとかそういう実績があるのかがどうか、自分の職業（美容室）にはきていない。自分の仕事は、そういう恩恵を受ける仕事ではないため、仕方がないと思っているが、留萌は観光系の仕事

だけではないのに、そういう人たちのことまで考えているのか疑問に思う。

②将来的に子どもたちのためにと言っていたが、今いる子どもたちが使用する施設の不便なところにも目を向けた方が、全体的に見てくれているような気がする。既存の公園には、遊具がなく、草が生い茂っている状態で、遊ぶ公園も高砂公園一強な印象がある。

正直、留萌小エリアの子どもたちが高砂公園に行くことがあまりないため、知っている公園で遊ぶしかない。でも、そこは狭く、草も生い茂っているため、子どもたちもつまらなさそう。

スポーツの話も出ていたが、一般市民の自分からしたら、一部のスポーツにしか力を入れているようにしか見えない。最近、野球がきて、少しだけ話題にもなったが、少年野球では、内野と外野のエリアの草と土のバランスが悪くて、試合中に転ぶ子が多い話も聞くし、トイレとか付随した施設に対して、周りも文句を言っている。

モンベルばかりに視野を向けるのは良いが、そうじゃない場所の整備等に対して、お金を使うことが、どうしてもできないのかを教えてください。

#### 【回答：市長】

①道の駅については、30万人ほど人が来ているというデータがある。

お昼の食事でお店の前に並んでいるのは、よく見るが、当然、それぞれが商店街に人が来てもらうようにするには、魅力づけする必要性があるし、留萌市としても、魅力づけをしていかなければならない。

②公園については、予算がついていないわけではなく、これ以外のことについても、一般行政経費として予算を組んでいる。

公園の整備は、3千万以上のお金を国からもらいながら、計画的にやっている。

小さな街区公園については、遊具の老朽化に伴い、子どもたちの利用率などをみながら、町内会と協議を行っている。

また、町内会のボランティアが草刈りをしてくださっているので、草刈り機を貸したり、燃料費を出したりなど、補助もしている。

これらについては、実態として見えていないのであれば、市に直接聞いてほしい。

人口減少を抑えるためには、関係人口を増やしていく、分母を増やしていくことになる。分母が増えることによって、美容室の利用客が増えることも見込める。道の駅にポスターを貼ってもらう等も、可能だと言える。

#### 【補足：伊端氏】

実は留萌市の公園は全道的にみるとすごく多い。

ただし、使われていない公園もあるため、これをあまねく整備するというのは、かなりお金がかかるため、なかなか理想通りにいかず、難しい問題といえる。

こういったご意見を参考にできることはやっていかなければならない。

#### ■発言者4：

道の駅で屋台を4年間やってきて、お客さんの流れ・ニーズ・お金の流れなどを含めて、

参画してきた。本日まちづくり懇談会が開催されるということで、来てみたが、懇談会の時間は極力少なく、前段は、洗脳に近い印象を受け、残念な気持ちとなった。

洗脳といったのは、人口や来場者の数字の中身に踏み込んでいかないとロケーションやマーケットというのは見えてこず、そのあたりの分析が明確でないため。

道の駅には大賛成で、留萌の経済部の機能に非常に付与できるツールであると推していた。モンベルに関しては、昨年、南富良野町に行って観察をしてきたが、まだまだ反対の立場で意見を述べたい。一店長としてのこれらの意見を聞いてもらいたい。

**【回答：市長】**

チャレンジショップをされている方含めて、懇談会は営業終了後に実施しているので、こういったところで意見を述べてほしい。

洗脳という言葉は誤りであり、市としては、的確に皆様へお知らせしていることをご理解いただきたい。

**■発言者5：**

①今年3月の第1回定例議会において、公設民営について、ランニングコストがかからないことが一番の利点だと市長の答弁にあった。この考え方を踏まえるとモンベルの事業が始まったあとに、管理の維持費や除雪費、関連経費は市の持ち出しがないと考えてよいか。

**【市長：回答】**

ランニングコストはかからないが、モンベルと連携して、使い勝手の良い建物を建てる予定。また、建設後は、モンベル側が光熱費等を出しながら、市とともに儲けていくための研究を行っていく。

②ランニングコストがかからないといっているが、市長の答弁で、ぶるもは年間7～8千万円かかっていると書いていたが、モンベルの話を知ると答弁内容が異なっているように感じる。

**【回答：市長】**

ぶるもは、あくまでも指定管理という形態でやっている、市がその負担に応じて、算定をし、委託費として出している。

モンベルは、建物を貸すという意味合いになるため、ぶるもとは異なる部分があることをご理解いただきたい。

**■発言者6：**

副市長の説明を聞いていると、モンベルのセールスマンが話しているような印象を受けた。モンベルを誘致することと、留萌市が今抱えている諸問題にどう結合していくのか説明を聞きたかったが、聞けなくて残念。

①アウトドア・アクティビティ拠点施設の機能について、総面積1,550㎡に対し、販売コーナーが800㎡と半分以上を占めている。こういった状況に税金を使って施設を建て、そこで商売をされるのに納得ができない。

また、案内や受付窓口も施設内に入っていることから、現在ある道の駅の管理棟との連携や利活用がきちんと考えられているのか。

【回答：市長】

道の駅の管理棟はあくまでも船場公園やちやいるもの管理施設として存在しており、指定管理のもと運営を行っている。

また、モンベル側との協議の中で、モンベルはモンベルらしい施設づくりをしていくため、道の駅とは別ものと考えている。

②税金で施設を建設して事業を進めるという発想は企業側から出されたのか、それとも留萌市が思い切った税金を投入してでもやりたい、誘致したいと思ったのかを明らかにしてほしい。

【回答：市長】

色々協議をしていく段階で企業誘致としてのインセンティブである。今までは、5年間固定資産税がかからない、人件費一人に対していくら出しますという条例でやってきた。この条例を変えて、企業進出応援基本条例などで公設の場合、例えば、全額市が負担するのではなく、あくまでも国から2分の1お金を負担してもらって、市の施設として、それを運営してもらって、公をより強くしていく施設になるのではないかと思います、市から提案をした。

③まちづくりとの関係でモンベルが他の産業との関わり、暮らしとの関わり、こういった本当の意味で市民が直面している問題との関連がなかなか見えてこない懇談会だったと思う。そのあたりについて、今後どうしていくのか知りたい。

【回答：市長】

基本的には、まちづくり懇談会が全くフリーの状態であれば、色々な課題というのを提出してもらって、お話してもらえればと思っているが、今回のご案内はまちづくりそして、モンベルについて、詳しく説明したいと思い、開催したことを理解していただきたい。

■発言者7：

モンベルについて、冬の集客は見込めないと思うが、何か考えがあるのか。

【回答：市長】

モンベルから冬の留萌をどう生かして、アウトドアやアドベンチャーツアーをやっていくか提案をもらいながら、進めていきたい。